

平成 29 年度 第 3 回学校協議会 議事録

日 時：平成 30 年 2 月 28 日（水）14 時～16 時

場 所：記念会館

出席者：川田会長、新宅委員、大野委員、山本委員、長谷川委員、石井委員、阿部校長
(7 名)

(事務局) 田中教頭、井筒事務長、奥田首席、長束首席、林首席、向山指導教諭、
奥平教務主任、藤本保健主事、松本生徒指導主事、大村進路指導主事、安井総務主任、
高橋特活主任、三谷機械系主任、美馬電気系主任、齋藤メカトロニクス系主任、山下工学
系主任、荻野一年生学年主任、中西三年生学年主任 (18 名)

1 校長あいさつ

2 報告事項

(1) 校長より (阿部校長)

- ・大阪府の学校運営協議会について
- ・平成 29 年度学校経営計画及び学校評価 (案) について
- ・平成 30 年度学校経営計画及び学校評価 (案) について

(2) 本年度の進路状況について (大村進路指導部長)

(3) 生活指導部より (松本茂生 生活指導部長)

- ・懲戒に関する規定について
- ・生徒心得について
- ・生活指導部申し合わせ事項について

(4) 学校教育自己診断結果について (長束首席)

(5) その他

3 協議題

<学校運営協議会>

[質問] 学校協議会から学校運営協議会への移行は、どのような変更があるのか。

(回答) 基本的には変わらないが、例えば Q & A に示すように部活動指導者の任用等の意見を言うことができる。

【意見】 府教委が積極的にやってもらえるならば、学校運営協議会の値打ちがある。

[質問] 学校運営協議会で「基本的な方針」の承認は、委員の責任が生じるのか。

(回答) 責任については、今後の規則等の整備によるが、来年度から学校運営協議会を設置する。

<学校経営計画及び学校評価>

[質問] 工学系の進学状況や追跡調査はどうか。

(回答) 四年制大学の進学状況は良い方である。追跡調査は、工科校長会推薦者で 1 回生のみ行っている。来年度からは、調査対象を広げたい。

【意見】 追跡調査結果を、進学指導にフィードバックする工夫が必要。大学も英語教育に力を入れるか、TOIEC の成績を 380 点からどのようにアップさせるか指導を検討している。なお、英語がツールであるから目的意識がないと上達しない。

[質問] 離職率と景気の関係はどうか。

(回答) 離職率の理由として、大半は一身上の都合による退職である。一部は特別な事情である。

【意見】 今年度、ある会社に新入社員が 4 人入社したいが、3 人が辞めた。仕事の内容が理解できずに辞めていく。就職試験受験者には、会社の内部事情を理解させて就職させる工夫が必要。工場見学は行った方が良い。

[質問] 遅刻者件数の目標は 3,000 で、結果は 3,000 を超えた。よって、△の評価と考えているがどうか。

【意見】 目標は 3,000 であるが、昨年と比較して大幅に減っており、○の評価でもよいと考える。

【意見】 単純計算で遅刻者が 1 日平均 10 人いることになり、○の評価にはならないと考える。

[質問] 中学校への広報活動の△の評価理由は。

(回答) 中学校訪問件数が目標より少ないためである。

[質問] 中学教員等対象研修のーの評価理由は。

(回答) 昨年度は、中学校教員の研究会から依頼があり研修を実施した。今年度は依頼がなかったためである。